

建築物エネルギー消費性能基準等における一次エネルギー消費量算定方法の変更について

平成 28 年 8 月

第七章「給湯設備」第二節「太陽熱利用給湯設備」の一部を下記のように変更します。

変更前 Ver.04 (エネルギー消費性能計算プログラム (住宅版) Ver.2.0)	変更後 Ver.05 (エネルギー消費性能計算プログラム (住宅版) Ver.2.0)
<p>第二節 太陽熱利用給湯設備 (略)</p> <p>2. 引用規格 JIS A4111: 2011 太陽熱温水器 JIS A4112: 2011 太陽集熱器 JIS A4113: 2011 太陽蓄熱槽 JIS B7552: 2011 液体用流量計の校正方法及び試験方法 <u>(追加)</u> (略)</p> <p>7. 基準集熱量 (略)</p> <p>太陽熱集熱部の有効集熱面積A_{sp}は、太陽熱温水器の場合、JIS A 4111 に規定される集熱部総面積又は集熱貯湯部総面積に 0.85 を乗じた値であり、ソーラーシステムの場合、JIS A 4112 に規定される集熱器総面積に 0.85 を乗じた値とする。 (以下、略)</p>	<p>第二節 太陽熱利用給湯設備 (略)</p> <p>2. 引用規格 JIS A4111: 2011 太陽熱温水器 JIS A4112: 2011 太陽集熱器 JIS A4113: 2011 太陽蓄熱槽 JIS B7552: 2011 液体用流量計の校正方法及び試験方法 <u>ISO 9488: 1999 Solar energy –Vocabulary</u> (略)</p> <p>7. 基準集熱量 (略)</p> <p>太陽熱集熱部の有効集熱面積A_{sp}は、<u>ISO 9488 の 8.6 節「aperture area」に規定される方法により算出した値とするか、</u>太陽熱温水器の場合、JIS A 4111 に規定される集熱部総面積又は集熱貯湯部総面積に 0.85 を乗じた値であり、ソーラーシステムの場合、JIS A 4112 に規定される集熱器総面積に 0.85 を乗じた値とする。 (以下、略)</p>